

出島

第92号

2018年4月発行



放送大学

長崎学習センター

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学文教キャンパス内

TEL (095) 813-1317 FAX (095) 813-1325

もくじ

・学位記授与式・入学者の集い	…	1～5	・図書室の利用について	…	11
・客員教員退任あいさつ	…	6	・システムWAKABAの		
・客員教員新任あいさつ	…	7～8	リニューアルについて	…	12～13
・長崎学習センターサークル等紹介	…	9～10	・インフォメーション	…	14～15
			・キャンパススケジュール	…	16

学位記授与式・入学者のつどいを開催しました

ご卒業おめでとうございます

平成30年3月、放送大学では3,584名の方が教養学部を卒業、314名の方が大学院を修了されました。そのうち、長崎学習センター所属では38名の方が教養学部を、2名の方が大学院を卒業・修了されました。心からお祝い申し上げます。

《教養学部 38名》

生活と福祉コース 9名

心理と教育コース 12名

社会と産業コース 7名

人間と文化コース 3名

情報コース 1名

自然と環境コース 6名

《大学院 2名》

臨床心理学プログラム 1名

自然環境科学プログラム 1名



御卒業、御入学おめでとうございます



放送大学長崎学習センター
所長 東條 正

御卒業、御入学の皆様、おめでとうございます。放送大学長崎学習センターの教職員一同を代表致しまして心からのお祝いを申し上げます。

今回、長崎学習センターでは、教養学部を 38 名の方が、大学院修士課程を 2 名の方が卒業、修了されました。男女の内訳では、学部卒業生の内 23 名の方が女性で、男性は 15 名で、大学院修士課程修了者 2 名は男女各 1 名です。年齢では最高齢の方が 83 歳、最年少の方が 25 歳です。

通信教育という孤立しがちな学びの中で、仕事や家事の合間に学び続け、規定単位を取得して卒業・修了を迎えられた皆様の御労苦に改めて敬意を表させていただきたいと思います。また、それを支えてこられた御家族の皆様にも改めて心からのお喜びを申し上げたいと思います。

卒業生の皆様に申し上げたいことは、学問の道は大学卒業で終わるものではありません。大学で習得できるのはその分野の枠組みに過ぎません。

私が、かつて在職していた大学で、よく若い先生方にアドバイスしていたのは、講義で自分の専門分野のすべてを教えようとすると、駆け足の表面だけの講義になって、受講者には何も残らない。それより、この学問は面白い、このことをもっと自分で調べてみたい、と思わせるきっかけとなるような講義を行うことこそが大学の、特に学部教育の使命ではないかということです。

そもそも学問全体は大学の講義で教えきれるものではなく、一生をかけて学び続けていくものなので、大学で学ぶのは、学問全体から言えば、ほんの入り口に過ぎません。ですから、ご卒業の皆様にも、放送大学で関心を持ったことを入り口に、実生活の場でも、家庭でも、一生学び続けて頂きたいと思います。

入学生の皆様にも、長崎学習センター教職員一同を代表して心からの歓迎を申し上げたいと思います。

高校までの学びと、大学での学びの大きな違いの一つは、大学は「自由」な世界であるという点にあると私は考えています。自由の一番目はどんな答えでも考えることのできる自由です。高校までの学びには常に正解があります。先生の言うことや教科書に書いてあることが正解で、そこから外れることはできません。しかし、大学以上の学問の世界には一つだけの正解というものはありません。教科書や教師の教えをただ覚えるのではなく、常に疑問を持ち、全く新しい答えを探していく自由があります。

もう一つは、行動の自由です。高校までの学びは先生や学校の指示のもとで進んでいったと思います。時間割も学校が決めたものに従っていただけだったでしょう。しかし、大学では自分の行動は全く自由です。大学の世界は、誰も指示を出しません。逆に言うと、どんな科目をとるかも自分で決めていかなければなりません。しかも、その結果は自分で責任を負わなければなりません。つまり、自由とは自己責任と表裏一体です。その意味では、自由な大学の世界は高校までの世界より厳しい世界です。

しかし、誰も指示をしなくても、大学には学ぶ仲間がいます。今、長崎学習センターにも 800 名以上の方が在学しておられます。通信教育はどうしても孤立した学びになりがちですが、新入学の皆さんには、学習センターで、学ぶ仲間と学びの方法を含めて、情報を交換し、交流を深めていただきたいと思います。

より具体的には、学習センターでの学ぶ仲間との交流の機会として、まず、学習センターで開かれる「面接授業」への参加、客員教授の方々へ学習相談、また、少人数で教員と学生が交わる客員教授の先生方が開設されているゼミへの参加などがあります。さらに、学生の皆さんが自主的に創られている幾つかのサークルへの参加もあります。これらの方法で、学生相互間の情報交換と交流を深めていただきたいと思います。

最後に、卒業生の方々には、放送大学で身につけた学びを、今後の生活に生かしていただくことを、入学生の方々には、今後、放送大学の学びの中で自由に学ぶ意味と重みを身につけていただくことを祈念して、私のお祝いの言葉にさせていただきたいと思います。

謝

辞



学位記授与式(NHK ホール)

卒業生・修了生代表 高潮 昇

本日は、私たち卒業生・修了生のためにこのような盛大な式典をご用意くださり、誠にありがとうございます。また、所長の東條先生のご祝辞をはじめ、ご来賓の皆様のご祝辞を賜り、重ねてお礼申し上げます。

私はサラリーマン時代、仕事を進めていくなかで、ベースとなる教養・知識不足を痛感することが多々ありました。機会があれば体系立てて学びたいと常々思っておりました。

長崎大学リレー講座の聴講でさらに刺激を受け、60歳を迎えチャンス到来！放送大学に入学しました。まずは何事も「歴史に学べ」と思い、歴史的にどのように変遷してきたのか、現在を見つめ、将来どの方向に向かうのか、問題点は何かという一連の流れのなかで学んで問うことに心がけました。なかでも、面接授業は私にとっては新鮮な学びの場となり、講義いただいた先生から、質問に確たる証拠に基づく答え、またレポート返却時のコメントを通してご指導いただき、学ぶことの喜びを実感することができました。

このような課程の総仕上げとして「卒業研究」に、温めていた研究テーマを2年間かけて取り組みました。

長崎県の人口減少に伴う地域経済の地盤沈下によって厳しい経営環境に置かれている地域金融機関の合併問題をテーマに、「人口減少と地域金融機関の経営戦略～長崎の事例を中心に～」を採り上げました。参考書を中心に「序論」「本論」と「結論」の要件と構成をどう組み立てるのか、先行研究の少なさに驚きながらも、ご指導いただいた先生に助言をいただき、大学で履修したテキストからより詳しい研究資料の検索、図書館での資料・情報の収集や分析、問題点の深掘りやまとめの日々が延々と続きました。

真夏に長崎大学附属図書館三階書庫で汗だくになって研究資料の検索、見つけ出した時の喜びはひとしおでした。新聞記事では、放送大学の先生の記事を食い入るように読み、本文で引用し「参考資料」として掲載させていただきました。放送大学で学んで問うことにより教養・知識がエネルギーとなり今回の卒業研究に結びつけることができました。郵便局で大学本部宛てに送付した時の卒業研究の重さを肌で感じることができました。

豊かな人生、実りある人生や仕事に向き合う時、教養・知識がエネルギーとなります。私たち卒業生・修了生は、次なる目標に向かって各々が選んだ自己研鑽の道を切り開いていく必要があります。一人ひとりが学んだこと、体験したことを、これからの糧として進んでいきたいと思います。

最後になりますが、私たちをご指導くださいました教職員、ならびに学習センターの皆様、支援してくれた家族、同僚、友人に心からお礼を申しあげますとともに、放送大学の発展を祈念し、卒業生・修了生を代表してお礼のことばとさせていただきます。

～卒業生のメッセージ～



（NHKホールでの授与式）

修論ゼミでは、独学ではなかなか気づかない視点や研究の方向性、論理の飛躍など、教官やゼミ生から毎回鍛えてもらい、修論を完成することができました。ゼミで自分なりに納得のいく発表をするために、上京する飛行機の機内でも内容の確認・手直しをしていたので、長崎～羽田間はいつもあつという間でした。

（大学院 野中 光治）

ふり返るとあつという間の20年。今回は3枚目の卒業証書をいただく。あの普賢岳噴火災害の頃、復興への市民大学講座を受講し、目からウロコ「自分に何ができるか」「何をすればよいのか」と迷った時、さらに県民大学や大学での出前講座受講で学びへの意欲が深まり、放送大学の楽しい学びにつながったことを思い出します。

（本田 光子）

定年後に始めた勉強でしたが、もっと早く入学していればよかったと何度も思いました。どの授業もおもしろかったですが、特に島内裕子先生の授業が楽しくて、名古屋まで面接授業を受けに行ったのは、私にとって良い思い出となりました。これからも継続して学びを楽しみたいと思います。

（森 百合子）

在学生の皆さんへ
仕事をしながらの学習は大変かと思われます。私自身、苦勞しながら単位を取得しました。しかし、努力は必ず実を結びます。卒業に向けてがんばってください。

（草野 友一）

大変お世話になりました。
ありがとうございました。

（高嶋 陽佑）

大学院臨床心理プログラムで学んだ日々。50代半ばの入学でしたが、なんと半数近くが50代。

いくつになっても夢を持ち、学び続ける仲間との面接授業での日々は本当にかげがえのない経験でした。在学生の皆さんも仕事や家庭との両面で難しい時期もあるかもしれませんが、きっとそれ以上の財産を得られることと思います。

（大学院 吉野 潤子）

単位認定試験前の緊張は、学生時代に戻って、自分が歳を取っているのを忘れるような錯覚。実際に試験勉強を始めると現実に戻って頭の硬さを実感させられますが、「学生だー」と自分に言い聞かせ、毎日を楽しくまた、時には緊張しながら友達といろいろと選択し、面接授業で他県に行く時のウキウキした感じが続けられると思い、また継続入学を決意しました。

（荒木 俊子）

平成29年度1学期末時点で卒業に1単位足りず、2学期は2つの面接授業を受講しました。そして最後の授業が東條所長の「三菱財閥の成立と発展」ということで、とてもいい締めくくりとなりました。しかし昨年オンライン授業での「生涯学習を考える」の受講も契機となり、継続入学して今後も学習を続けたいと思っています。

（中嶋 則昭）

日々歳を重ねる毎に、学習すること・覚えることが苦手になる中で「生涯学習」と思い、老体に鞭打ちながらがんばっています。仲間との出会い、新しい情報を身につける等、毎日の生活にも変化を感じつつ、楽しみを覚えるまでになりました。本当に「教養は生きる糧」と思います。

（諸熊 康子）

私は仕事オンリーの生活をしてきた人間です。世間の動向に全く関心もなかったし、自分の生活に手一杯でしたが、それなりの年齢に達してくると、一般的な知識が必要不可欠な条件となりました。そこで生涯学習にチャレンジした結果、それなりのコミュニケーション能力の上達と物事に対する理解力、更に判断力が多少なりともできるようになったことは成果と言えます。

（田村 文代志）



看護師として働きながら学ばせていただきました。仕事をしながら学ぶことは決して楽なことではありませんでしたが、知識の再確認や新たなことを学ぶことができ、有意義な生活を送れたと思います。皆様もがんばられてください。

(山口 敬史)

古希を間近に控え、今後の人生を如何に有意義に過ごすべきか思案している時、放送大学学生募集の案内に出会い、入学したのは平成16年10月でした。現在地に移転した直後で3年後には新しい学舎で学べたのは幸いでした。21年3月、東京の卒業式に出席し、その盛大さに感激しましたが、特に名誉学生の方が多数おられるのに啓発され今まで励んできました。これからは晴耕雨読の日々を健康に留意し、心豊かに過ごしたいと思っています。ありがとうございました。

(岩永 秀章)

ただ大学卒業、学位取得だけの目的だとかなりキツイのではないかと思います。自分の場合、目標は学士でしたが、心理学を学ぶことにより現在の仕事、対人、子どもへの教育にかなりプラスになったものがありました。楽しんで学ぶことができて本当に良かったと思います。今後機会があれば臨床心理士も目指してみたいと思いますが、今は現在の仕事に集中したいと思っています。

(中尾 暢隆)

入学当初の予定より、卒業まで長くかかりましたが無事終了でき、今では継続することができてよかったと感じています。専門コース以外にも多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。

(田中 裕子)

4年半前、福岡学習センターに長年の夢をかなえ入学しました。都合により帰郷しましたが、長崎学習センターで続けて勉強することができました。特に思い出に残っているのは雪の日の認定試験です。時間を配慮していただいて受験することができました。また、家族も協力的でした。試験や授業の続く日は近くのホテルに宿泊し、家事一切を忘れて自分だけの時間を満喫したものです。

職場にも休みを取らせてもらい、あらゆる方々から援助支援をしていただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今後も続けて学んでいこうと思っています。

(小路 ます子)

放送大学を無事卒業できたことを大変嬉しく思っています。歳を取るにつれて記憶力、判断力の低下で単位認定試験では苦労しました。

昔は教科書での勉強が主でしたが、現在はインターネット視聴、過去問題の学習等、勉強する環境が整っています。それでも個人的には苦労しています。向学心に燃えても高齢化が阻んでいるようです。今後もがんばっていきますので、よろしくをお願いします。

(中嶋 幾美)

皆様方には、大変お世話になりました。

科目を受講する中で見過ごしていた事柄に目が届くようになりました。学習によって「気づく」ことが多々ありました。今後は、別コースに再入学して、新たな「気づき」を探していこうと思います。学んだことを周囲にも還元しようと思います。またよろしくお願いします。

(立石 公一)

社会と産業コースを選択し、自分なりに努力をして色々な分野を学び、周りの人に支えられて卒業することができることを幸せに思います。4月からも放送大学で学ぶことを続ける予定です。これからもよろしくお願いします。

(矢野 智恵)

インターネット配信での放送授業を2学期から視聴し、その利便性に魅せられました。今後も興味ある科目をマイペースで学習したく再入学を決めました。選科履修生から足かけ10年間サポートしていただいた方々に感謝申し上げます。

(山本 次男)

「心理と教育コース」1科目受験で合格の万全を期すことにしたが、受験直後の予感「落ちたのでは!？」であった。発表の日、約24時間、何回ものアクセスの末「合格」を知った。喜びの余勢で即座に再入学の手続きをとった。「情報コース」である。「生きることは学ぶこと...」、私は放送大学学歌が好きだ。

(匿名希望)



《順不同》

学習センター退任のご挨拶

《このたび4名の客員教員の先生方が退任されました。ありがとうございました》

客員教授 管原 正志



放送大学長崎学習センターでの最初の面接授業は、多良見町の学習センターの時であり、以来、何度か面接授業を行いました。

5年前に客員教授に就任し、昨年最後の面接授業を行い、3月末に客員教授を退任しました。長崎学習センターには、長い間に渡って大変お世話になりました。

私の専門分野は、衛生学、スポーツ科学であり、それ程話題性のある学問分野でないのに年2回の公開講座の題目には少々苦労しましたが、東條センター所長が導入された「特別ゼミ」での専門分野以外の課題で学生と共に学んだおかげで、公開講座を何とか乗りきることができました。「特別ゼミ」は学生の皆さんとの距離が近くなり、同窓会のサークル活動の一つである「旅研」の会員となる機会ともなり、海外の学会の際にその国を旅行し「旅研」での発表を数回設けて頂く等、充実した5年間となりました。

東條所長及び職員の皆様、旅研そして学生の皆様、客員教員各位に感謝申し上げます。昨年暮れに人生100年を見据えた中教審の大学分科会将来構想部会で高等教育の将来像として、リカレント教育の重要性が示され、放送大学の役割が一層増すと思われます。最後に、放送大学長崎学習センターの益々の発展をお祈り申し上げます。

客員教授 稲田 俊明



平成28年度から2年間客員教授を務めましたが、この3月で退任しました。在職中は、面接授業、専門ゼミ、公開講座などで大変お世話になりました。私の専門は英語学・言語学ですが、「日本語から探る英語の仕組み」、「言語の普遍性と多様性」、「ことばの獲得と言語研究」、「ことばから見る人間の心の創造性」など、言語に関わる様々な話題で楽しく講義をして共に学ぶ機会を与えていただき、心より感謝致します。

ことばは人間にとって身近なものですが、謎に満ちています。よく言われるように、外国語を学んではじめて母語である日本語の興味深い特徴に気付くことがあります。例えて言えば、「地球の裏側の路地を歩いていて袋小路に行き当たり、壁際の小さな穴を掘っていくと、気が付いて見たら自分の家の庭に出てきた」（新聞の読書案内の記事）というようなことが、言語研究でもよくあります。短い間でしたが、私の話が、何か少しでも新しい発見や物の見方の役に立つことがあればと願っています。

客員教授 川上 茂



この度、放送大学客員教員を退任いたしました。私は当初から1年間の任期でしたので、任期満了での退任となりました。

長崎学習センターでは、第1・2期ゼミ、放送大学・県立長崎図書館公開講座、放送大学長崎同窓会特別講演会、面接授業を担当させて頂きました。内容としては、「くすりの歴史・長崎との関わり」、「薬のはたらく仕組み」、「薬剤師の役割」、「未来の医薬品」に関する授業を行いました。

毎回の授業においては、数多くの質問を頂きました。放送大学では社会人として多くの経験を有している学生が多く在籍しているため、普段の大学等の授業とはひときわ異なる質問が多くあり、毎回、新鮮な気持ちでした。ここでの授業を通じて、改めて「薬と社会」の関係を考える良い機会となったと考えております。受講して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

最後になりますが、東條所長ならびに長崎学習センターの職員・学生の皆様の益々のご発展をお祈りし、私の退任の挨拶とさせていただきます。

客員教員 橋口 晋



放送大学で受講生の皆さんとお会いする前は、「もう〇〇歳だから・・・」と、何かに挑戦しない言い訳に年齢を使うことが少なくありませんでした。しかし、放送大学には、学生として、80代の方も多数在籍されている。自分の年齢を言い訳にすることが恥ずかしいことと気づかせていただきました。他にも言い訳があり、思い切った挑戦はできておりませんが、皆さんから刺激を受けたおかげで、春から「動機づけ面接法」の勉強会を主催することを決めたりや、苦手なプログラミングなどへの挑戦を始めていくことができました。ありがとうございます。

面接授業（心理学実験3）は引き続き担当いたします。客員教員の退任に当たり、皆様に負けないう学び続けたいとの思いを強くしております。お会いする回数は減りますが、それぞれの場で、学びと挑戦を続け、互いに高めあえればと思います。

新任ご挨拶

《平成30年度、新たに3名の客員教員の先生が着任されました》

「芸術文化が街も、そして人も豊かにする」

客員教授 堀内伊吹

私の故郷は、信州松本です。長崎のように新鮮なお魚はありませんが、野沢菜と信州蕎麦は、自慢の一品です。縁あって、長崎大学に赴任してから、ずいぶん長い年月が過ぎました。(30年経過までは数えていましたが、そのあとは数えるのをやめました) 私の専門はピアノと音楽文化活動です。教育学部で学生の皆さんと向き合いながら、音楽や文化運営論の授業を行い、長崎の街に出かけ、文化普及活動を行ってきました。

残念ながら、長崎が今置かれている文化的状況は決していいものではありません。長崎県や長崎市が主催した大型音楽文化事業も、主として経済的な理由により中断したり、大幅な縮小をせざるを得ないというのが実情です。あこがれや希望を胸に大学に入って来た学生たちを鍛え、音楽活動ができるように育てても、その先の世の中(社会状況)がこのままでは、彼らの活躍場面は限られたものになってしまいます。

ところで、私は、長崎学習センターで情熱を持って勉強が続けられている皆様の力が、実は長崎の街を変えていくのではないだろうか。そう考えています。言うまでもなく、芸術文化は人の心を豊かにし、お金では買うことが出来ない、息を呑むような特別の瞬間を与えてくれます。この度客員教授として着任することになりました。これまでの経験で、少しだけ見えてきたこともあります。皆さんと一緒に、「人と街を豊かにする芸術文化」について考え行きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



「平凡を積み重ねれば非凡」

客員教授 西田 孝洋

本年の4月より長崎学習センター客員教授を務めます西田です。長崎大学薬学部・大学院医歯薬学総合研究科で、現役の教授として研究と教育に励んでいます。

さて私の研究内容ですが、広く言いますと「薬剤学」です。クスリ(薬剤)に関する学問と理解して下さい。クスリのからだの中での動きをしっかりとコントロールして効果を向上させる研究を行っています。一方教育面では、からだの中でのクスリの動き、クスリの副作用・薬物相互作用、クスリの形(剤形)などについて教えています。

ゆとり教育やネット社会などの影響で、若者の気質は大きく変化しております。例えば、最近のニュースによると、大学生のほぼ半分が読書をしないそうです。また、コミュニケーションに困難を抱えた学生も少なくありません。大学生の教育には、いつも試行錯誤していますが、良い言葉を知りました。バスケの講習を受けた息子がコーチから教わったそうですが、「平凡を積み重ねれば非凡」(小林一茶の語録)。ドリブルなどの退屈な基礎スキルの積み上げが上級なプレイにつながるということです。放送大学での生涯学習にも当てはまる重要な事項ではないでしょうか。

現役の教育研究者として、勉学の御相談相手になれるのではないかと思いますので、気軽に訪問されて下さい。皆さんとゼミや公開講座を通して、これから共に勉強していくことを楽しみにしております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



「人の心を様々な方法で紐解いていく」

客員准教授 田山 淳



皆様、はじめまして。今年度から着任します田山といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

私の専門は、心理学という人の心を科学的に研究する分野です。大学生の頃から心理学に興味を持ち始めました。現在は長崎大学教育学部に所属し、複数の授業を担当しています。これまでの経験を活かして、皆様のお役にたてればと思っています。

心理学といっても様々な分野に細分化されています。私の専門はどちらかというと医療・教育寄りのいわゆる臨床心理学という分野です。この臨床心理学にも、人の心を紐解くための様々なアプローチ方法があります。例えば、絵を分析する方法、姿勢や態度等の行動を分析していく方法、遺伝子を分析していく方法、腸内細菌を分析していく方法等、現在では多種多様な方法で人の心へアプローチしていきます。複数の方法で人の心にアプローチしていくと、心の全体像が明確になってきます。別な言い方をすると、複数の視点で人の心をみていくと、真の心に迫ることができます。

放送大学においても、人の心に関する学問と、皆様と共に向き合っていきたいと考えています。有意義なひとときを皆様と共に送れますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

客員教員による学習相談週間スケジュール

◆平成30年度は、下記の予定で客員教員の先生がお見えになります。

日程は変更になることもありますので、学習相談等がある場合は、事前に事務室にご連絡ください。

担当教員	専門分野	曜日・時間
山路 裕昭	理科教育	金曜日 13:00～15:00
		日曜日 10:00～12:00
堀内 伊吹	音楽教育、芸術・文化	火曜日 13:00～17:00
西田 孝洋	薬剤学、医療薬学	木曜日 13:00～17:00
田山 淳	臨床心理学、公衆衛生学・健康科学	火曜日 13:00～17:00



長崎学習センターサークル等紹介

学友会

学友会は、学生相互の親睦と見聞を広めることを狙いとして、研修旅行を中心とした活動を行っています。いわば「クラス会」のような存在です。今年度は、次のように計画しています。

月 日	行 事 名	内 容 骨 子
6 月 17 日(日)	大牟田の世界遺産めぐり	世界文化遺産に指定されている三池炭鉱関連遺産をフルにガイドの案内で巡回します。
9 月 9 日(日)	とことん唐津	唐津の歴史・景色・街並・風土に焦点を当て、フルにガイドの案内で巡回します、中でも久里双水古墳の見学は、貴重な体験となります。
11 月	肥前さが幕末・維新博覧会	2018 年＝明治維新から 150 年。日本の近代化に貢献した佐賀の「技」「人」「志」に焦点を当てた博覧会を巡回します。オプション＝さが水ものがたり館＝佐賀がいに水を利用・克服したか、あまり知られていませんが、レベルの高い展示です。
H31 年 2 月 最終日曜	古都秋月散策	筑前の小京都、今も「古」に逢える街＝秋月を街歩きガイドと一緒に巡回します。長屋門屋外雛人形展もコースに入っています。

英語サークル

「英語サークル」の発足は大草時代に始まり現在に至っております。その主な目的は英語能力向上を図ると共に会員相互の親睦を深めるものであります。現在の会員は15名、会長、副会長及び会計を当番制で定め運営しております。

年間を通して原則毎月第二土曜日の13時30～15時30分、教材はNHKの「ラジオ英会話」のテキスト、CDによるヒヤリング、リーディング&シャドウイングを主としています。また、ペアを組みフリートーキングも行い英語・日本語・ジェスチャー等なんでも有りで賑やかなひとときです。更に特別講師の沖崎氏の指導により英語の歌を歌うなどリラックスした雰囲気です。

前回の文化祭では会員によるコーラスで「ハイ ジュード」、「花は咲く」など4曲を英語で歌い上げ好評を博しました。

近年長崎への外国大型客船の寄航が増え、街は外国の旅行者で賑わっています。チョット勇気を出して英語で話し掛けてみませんか？

～ 「英語サークルへどうぞ」～

パソコンサークル

始める春、みなさんパソコンを開いてみませんか。

昨年度から超入門コースは、サークル仲間がサポーターとしてはりつきしました。ビギナーの人、再チャレンジの人、ステップアップを目指す人大歓迎です。

本年度は、放送授業の視聴方法などの進化に合わせて、ビギナー向けに「放送大学生に必要なネット、システム WAKABA・ネット配信の授業の視聴・学生メールの利用等」をマスターするサポーターを用意します。

もちろん専門講師による

一般コース・・・Word・Excel・メール etc

専門コース・・・イラストレーター・フォートショップ

も4月20日金曜日スタートします。

みんなで一緒に学園生活・サークル活動を謳歌しましょう。

<https://hnpc.jimudo.com/>

放送授業の学習センター視聴学習・図書室での視聴は、順次パソコンに切り変わっていきます。

ぜひこの機会に
パソコンサークルへ！

俳句クラブ

俳句クラブは、平成11年2月2名の同好会から始まりその後、同好の士を増やし、センターのサークルとなり今年で19年目となります。句会は毎月第2木曜10時から12時までです。

春と秋には吟行会を話し合って計画し名所、旧跡等を訪問します。2年毎に「句集」を発行し、現在「第九集」まで発行しています。句集を紐解けば良い思い出になります。

俳句を作りましょうとお誘いしますと、よく難しいと言われますが、観たもの、楽しかったこと、感動した事等に季語を入れ、五・七・五に纏めればできます。句会では各人2句投句し、3句選句します。句会では選句した理由をだしあい、意見、反論もでて、わいわい、がやがや楽しくやっています。俳句に興味のある方は句会を一度見学に来ませんか。待っています。

心理研究会

例会時の○分間スピーチでは多様な会員のスピーチが飛び交って、面白くなっていきます。29年度の年間研究テーマは「犯罪心理学」、そして年度末3月には心理研究会主催の公開講座「やる気の心理学」を村田教授（心理研究会顧問）による講演。この講座には放送大学の学生はもとより、新聞広告などで講座知った一般市民の方も大勢参加され、恒例行事だと好評を得ています。

毎月の例会から講座開催までに心理研メンバーの企画、立案、実行に向けての熱意が注がれます。個性ある人々を尊重しながらのこのサークルの絆には一体どんな心理が働いているのでしょうか？

心理研究会例会に多くの方が参加されますようにお誘い致します。バックアップをお願い致します。

例会日時・・・毎月第3日曜日 13時～15時（1月、7月の試験月を除く）
場 所・・・学習センター4F 多目的室

旅行研究サークル

旅行研究サークル（たびけん）は、学友仲間たちのサークル親睦団体です。

名前だけでは、何を研究するの…？と思われがちですが、気持ちと趣味の持ち合わせが一致したサークルで、その仲間たちと、国内外の旅の経験者による旅案内（プレゼン）・国内外旅の情報交換、また学外活動として、まちなか探索（さるく）による「長崎学探求」の学習会の開催（年間三回）、時には諸外国の歴史、文化、社会情勢等楽しく活動しています。

時に孤独になりがちな大学の学生生活、一人で思い悩んでも先の展望は見えて来ません。そこに学友、仲間がいて共有する連帯感を持ち、横のつながり、ふれあいの居場所づくり見出して、楽しい学生生活を送っていただきたいと思います。

新入生の皆様、在校生の皆様、ともに楽しく集い、仲間たち」と学生生活の一部としてのサークル活動を過ごしてみませんか。在籍会員一同ご入会をお待ちしています。

同窓会

平成13年4月8日に、14名の卒業生により設立された放送大学長崎同窓会は、今年設立17年目を迎え、会員数は151名になりました。

長崎同窓会会員は、卒業後の再入学者、複数専攻卒業後の再入学者が多く互いに切磋琢磨しながら、自らの生涯学習の理想実現や相互の情報交換・親睦などを図ることを目的とした活動を続けています。

平成30年度・活動計画は、前年度からの継続活動として「旅行研究サークル」との協働による年2回の研修会「長崎学探求」、10月には客員教授による講演会、明けて2月には恒例の「論文研究発表会」を予定しています。平成29年12月に公開した「長崎同窓会ホームページ」は、多くの方の投稿をお待ちしています。現役学生皆様の投稿も大歓迎です。今年度もみなさまと共に学び、楽しい居場所づくりの同窓会を目指しています。

会員募集

『ご協力をお願い』
活動事業へのお手伝い、ご助言等、ご協力頂ける方を求めています。会員のみならず、どなたでも参加できる「開かれた同窓会」を目指しています。



＊入会や見学などの手続きは、まず事務室へお問い合わせください。

視聴学習・図書室ご利用方法変更について

室内での視聴方法の変更



前年度まで



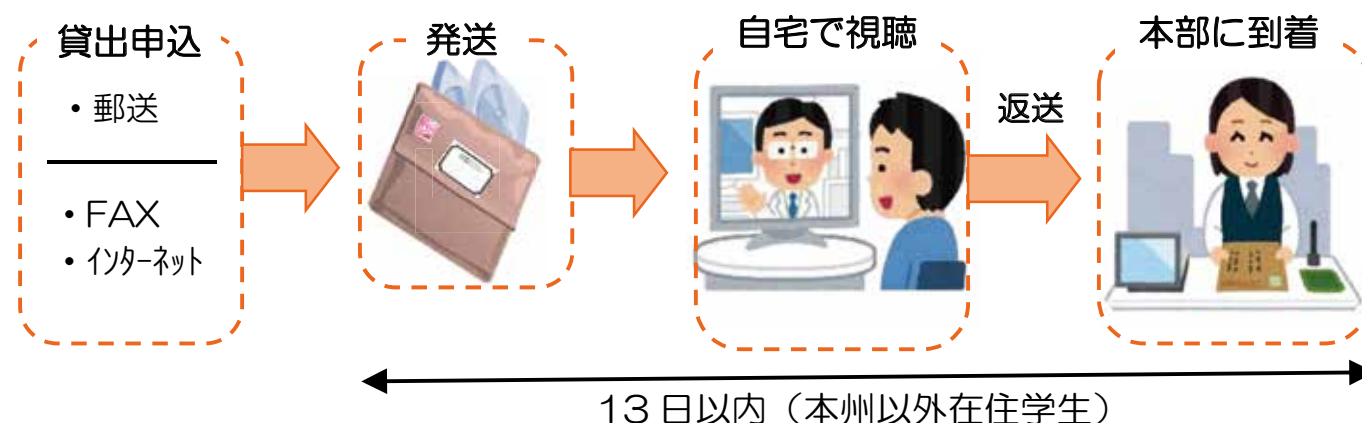
今年度より

- 2018 年度より、「DVD・CD による視聴」から「パソコンを利用した視聴」に順次切り替えていきます。今年度は視聴スペースの約半数に視聴用パソコンを設置しています。
- 学生用 ID とパスワードでログインしてから視聴してください。
- DVD・CD は 2018 年度新規開講科目の教材（大学院科目を除く）は視聴用として配架します。
- 2019 年度以降の新規開講科目、並びに順次閉講する科目に関しては DVD・CD の配架はいたしません。

室外貸出方法の変更

- 2018 年 4 月から放送教材の室外貸出は本部で一括して行っております
学習センターでの室外貸出は受け付けておりませんのでご注意ください。
- 申込、は郵送・FAX ならびにインターネットからできます。宛て先、料金などの詳細は「学習センター利用の手引き」・「学生生活の栞」または放送大学ホームページをご覧ください。

☆室外貸出の流れ☆



☆注意事項☆

- 送料は貸出時、返送時ともに学生の自己負担となります。
- 貸出した教材の延滞や破損・紛失があった場合は利用を停止することがあります。

【重要なお知らせ!!】 システムWAKABA がリニューアルしました

「システム WAKABA」と「キャンパスネットワークホームページ」が統合され、「システム WAKABA(新教務情報システム)」になりました。

旧システムをブックマークや「お気に入り」に登録していた方は、そのままではアクセスできません。放送大学ホームページから改めてログインしてください。

◆ ログインの方法

① 放送大学HPにアクセスし、「在学生の方へ」から「システムWAKABA（教務情報システム）」をクリックして下さい。

※ 旧システムWAKABAのブックマーク等のURLではアクセスできません。



② 放送大学認証システムにてID・パスワードを入力し、ログインボタンを押してください。



③ 新しいシステムWAKABAへログインした画面



※イメージ画像

- ◆ キャンパスネットワークホームページがなくなっていますが、内容は、新「システムWAKABA」に引き継いでいるので、これまでどおり大学からのお知らせや放送授業のインターネット配信を視聴することができます。

Web 通信指導やオンライン授業も同様にシステムWAKABAからログインしてください。

また、教務情報から、学籍・履修情報・単位取得状況の確認や、出願・科目登録申請、履修成績照会、住所変更等の諸手続きをすることができます。

ログインすると、これまでとはメニュー画面から違うので、初めは戸惑うかもしれませんが、まずは、さわってみてください。

詳しくは、ホームページや「学習センター利用の手引き」12～13ページをご覧ください。

○ 新しいシステムWAKABAに関するQ&A

Q1 今まで登録していたブックマーク（お気に入り）からログインできません。どうすればいいですか？

A1 新システムでは、ウェブページのアドレス（URL）が変更になっています。旧システムのアドレスは無効になっていますので、最初は放送大学ホームページからリンクをたどってログインしてから、ブックマーク等を登録しなおしてください。

Q2 新システムにログインするときのID、パスワードは変更になりますか？

A2 ログインID、パスワードに変更はありません。新入生の方は入学許可書に記載されています。

ID、パスワードを忘れた場合、不明な場合は、本部総合受付（043-276-5111）へ問い合わせてください。

Q3 新システムで、科目登録をあらためて行う必要がありますか？

A3 在学生は2月に行った科目登録の情報、新入生は12月～3月までに行った出願登録時の情報が引き継がれていますので、あらためて科目登録を行う必要はありません。

Q4 新システムで、顔写真の登録をあらためて行う必要はありますか？

A4 旧システムの情報が引き継がれますので、すでに登録済の方はあらためて登録する必要はありません。未登録の方は新システムで登録をお願いします。

Q5 キャンパスネットワークホームページから視聴していた放送授業は、どのようにすれば視聴できますか？

A5 システムWAKABAが学生のポータル（入口）ページとして機能します。ログイン画面右上の学内リンクにある「放送授業のインターネット配信」をクリックしてください。なお、インターネット配信システム自体の変更はありません。

Q6 キャンパスネットワークホームページの廃止後もGmailを利用できますか？

A6 利用できます。システムWAKABAにログインすると、画面左側に「Gmail」のボタンを設けています。また、これまでどおり放送大学ホームページ（トップページ）からもアクセスできます。

インフォメーション (事務室からのお知らせ)

○ 開所時間の変更について

放送教材の貸出が本部に一元化されたこともあり、2018年度2学期から、学習センター開閉所時間の変更を予定しています。ご注意ください。

- * **これまで** 火～金 10:00～18:30 土・日 9:30～18:00
- 2学期～** 火～日 9:30～18:00 (予定) 詳しくは次号・ホームページ等でお知らせします。

○ 「通信指導」の提出について

通信指導とは、各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案を提出して添削指導を受けることです。この添削結果により、単位認定試験の受験資格が得られます。

- * 期限を過ぎて到着したものは受理されませんし、未提出の場合単位認定試験が受けられません。必ず提出期間内に大学本部へ提出してください。

提出期間 : (郵送) 5/24 (木) ～ 6/ 7 (木) **【本部必着】**
(Web) 5/17 (木) 10:00 ～ 6/ 7 (木) **17:00 まで**

- * 一部の科目を除き、システムWAKABAで通信指導の提出・解説の閲覧ができます。

○ 面接授業追加登録について

面接授業の空席発表は、**4月14日(土) 12:00～** ホームページ、学習センター掲示板です。

追加登録の申請受付は、**4月20日(金)～** 原則として開講日の1週間前(一部例外あり)までに、学習センター窓口を受講料を添えて申し込みください。

- * **詳しくは、同封の案内チラシをご覧ください。**

○ 客員教員によるゼミについて

長崎学習センターでは、客員教員によるゼミを行っています。正式な修得単位にはなりませんが、教員と学生が互いに意見を交わしながら進める少人数の授業です。この機会に参加してみませんか。

申込期間 4月17日(火)～5月2日(水)

定 員 各ゼミ 10名まで

- * **詳しくは、同封の案内チラシをご覧ください。**

○ 卒業研究履修ガイダンスの開催について

平成30年度卒業研究履修者を対象とした、本部職員による卒業研究ガイダンスを開催します。

「卒業研究」はどうすれば履修できるのかなど、興味のある方はぜひご参加ください。

参加希望の方は、事務室窓口まで申し込んでください。(電話可)

開催日時 6月16日(土) 13:30～15:00 **会 場** 長崎学習センター

○ 「夏季集中科目履修生」について

「司書教諭資格取得に資する科目」「看護師資格取得に資する科目」が開設されます。

受講希望者は、学習センターまたは大学本部へ募集要項を請求して、出願期間内に大学本部へ提出してください。

出願受付・在学生科目登録期間

看護師 : 平成30年5月1日(火)～5月31日(木) **【必着】** ※本学の卒業に必要な単位として算入されます。

司書教諭 : 平成30年5月1日(火)～6月 7日(木) **【必着】** ※図書館司書の資格とは異なります。

○「学生証」について

学生証は、図書室の利用や単位認定試験を受験する時などに必要です。

所属学習センターで発行します。4月入学の新入生は入学許可書を、平成29年3月末で有効期限が切れた全科履修生・修士全科生は古い学生証をご持参の上、事務室までお越しください。また、学生証を紛失された場合も所属学習センターで再発行（手数料500円）します。

○ 学割証の発行

全科履修生・修士全科生が、視聴学習・図書室の利用や、面接授業・単位認定試験・卒業研究のために通学する場合等に発行します（サークルや個人的用務には、発行できません！！）。利用できる交通機関は、JR・県営バス・長崎バス・島鉄バスです。ご希望の方は事務室で所定の手続きを行ってください。

○ 諸証明書の発行について

「学生生活の葉」の巻末に添付されている「諸証明書交付願」（様式9・10）を提出してください。（手数料は1通につき200円）郵送でも申請できます。

発行までに時間のかかるものもありますので、ご注意ください。

詳しくは「学生生活の葉」P103～P105をご覧ください。

* 様式は、システムWAKABAからもダウンロードできます。

〔キャンパスライフ → 学内共有ファイル → 各種届出・申請様式〕

○ 各種願（届出）について

各種願（届出）には、それぞれ提出期限があります。

住所等変更届、氏名変更届、職業等変更届は変更後速やかに提出してください。

（住所変更は郵便局にも転居届を提出してください。）

所属コース・専攻変更願兼カリキュラム移行届、所属学習センター変更願、単位認定試験受験センター変更願、休学届、復学届、退学届は、学期ごとに提出期限が定められていますので、必ず期限内に行ってください。

詳しくは「学生生活の葉」P20～P21及びP85～P91をご覧ください

* 様式は「学生生活の葉」の巻末にあります。

* システムWAKABAからも変更可能です。

4月からの事務室職員 よろしくお祈いします！！

○事務長 山崎 雅彦【新任】

○事務職員 ・佐藤 富明 ・田中 慎一 ・山路 彩乃

・市瀬 久美 ・山頭 菜穂子 ・天田 実佳



退任者から一言

平成25年4月から5年間勤務させていただき、このたび期間満了で卒業になりました。

この間、上司や同僚の方々、学生の皆さまに恵まれて大過なく職務を全うできたことに感謝いたします。

放送大学は、「いつでも、どこでも、誰でも」がモットーですが、99歳の方が卒業したとの記事には驚かされたものです。私も少し充電期間をおいてポケ防止のためにも放送大学で学びを始めたいと思っています。今度皆さまと会うときは学生として会えることを楽しみにしています。

長い間お世話になり、ありがとうございました。

事務長 宮原 俊夫

キャンパススケジュール (5・6・7月)



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 1日 夏季集中科目生 (看護・司書教諭)
出願受付・在学生科目登録開始
- 3日～ 5日 閉所日 (憲法記念日・みどりの日・こどもの日)
- 25日 単位認定試験受験センター変更願 **【本部必着】**
- 31日 夏季集中科目生 (看護) 出願・科目登録 **締切**

☆4月・5月の面接授業☆

- 4/21 (土)・22 (日) 江戸時代の「鎖国」って？
- 4/24 (火)・25 (水) 西洋芸術の歴史と理論
- 4/28 (土)・5/6 (日) 薬物送達システムのしくみと進歩
- 5/12 (土)・13 (日) 心理学実験3
- 5/12 (土)・13 (日) 対馬暖流域における海洋物理現象
- 5/19 (土)・20 (日) バイオマスを利用する地域と技術
- 5/26 (土)・27 (日) 音楽を楽しむための7つの視点
- 5/26 (土)・27 (日) 身近にあるICT活用を知ろう



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 7日 所属コース・専攻変更願兼加計移行届 **【本部必着】**
通信指導提出期限【本部必着】
- 夏季集中科目生 (司書教諭) 出願・科目登録 **締切**
- 15日 平成30年度第2学期入学願書受付開始
【第1回募集 ～8/31 本部必着】
【第2回募集 ～9月中旬本部必着】
- 平成31年度修士・博士全科生募集要項配布開始

☆6月の面接授業☆

- 6/ 2 (土)・ 3 (日) 長崎くんちの凡て
- 6/16 (土)・17 (日) 安全とリスク
- 6/23 (土)・24 (日) 自然科学入門
- 6/30 (土)・7/1 (日) 戦争と慰霊の歴史地理
- 6/30 (土)・7/1 (日) 五島灘洋上実習



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 中旬～ 単位認定試験 (受験票) 通知送付予定
- 22日～8/5 集中科目放送授業 (看護・司書教諭)
- 27日・28日 **平成30年度第1学期単位認定試験 (大学院)**
- 29日～8/5 **平成30年度第1学期単位認定試験 (学部)**
【7/30・8/3を除く】

☆7月の面接授業☆

- 7/ 7 (土)・ 8 (日) 日常生活と法